

でわしょうないこくさいむら まいしゅうげつようび きゅうかん
出羽庄内国際村は毎週月曜日が休館です。

村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM



がいこくご 外国語でまなぶ世界の料理 ～2月 かんこくご 韓国語で韓国料理～



とくしゅう

特集

みんぞくかん とくべつ き かくてん

アマゾン民族館特別企画展

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 42

Quarterly



みんぞくかん

アマゾン民族館

たみんぞくこっか

ぶんかてん

多民族国家インドネシア文化展 3月10日(土)から

かいかんじかん

開館時間 9:00～17:00 毎週土曜日は、小・中学生入館無料!



『ドネシア文化展』

午前10時からオープニングセレモニー

パプア州ケーロム郡の「ワリス伝統舞踊団」公演～

開催にあたって

インドネシアは赤道直下、東南アジアからオセアニアにかけて東西5000km、南北3000kmに広がる島嶼国家です。

1万3千の島から成る国土は日本の5倍にも及び、スマトラやカリマンタン（ボルネオ）といった島々は日本の国土よりも大きい面積があります。人口は2億人を超え、世界4番目の大国です。

多民族国家インドネシアは、島毎に文化や言語が異なり、300以上の民族集団と250以上の言語グループがあるとされます。国家スローガンとして「多様性の中の統一」がうたわれています。

山形との関係を見てみると、ニューギニア島の西半分を占めるパプア州（旧イリアンジャヤ州）と山形県は、1994年に姉妹州県を締結して以来、10数年にわたって活発な交流が続いています。ビアク沖大地震、スマトラ沖大地震と大津波、ジャワ島中部大地震の罹災者の救援の際には、多くの山形県民が「地球市民」の意識を持って活動してきました。

『多民族国家インドネシア文化展』は、ジャワ島、バリ島、スマトラ島、スラウェシ島（セレベス）、そしてニューギニア島（パプア州）の5つの島を取り上げました。多様な文化に触れ、異文化理解、国際理解に役立ち、インドネシアと日本間の友好・親善に貢献出来る事を願っています。

アマゾン民族館

館長 山口吉彦

山形県とパプア州との姉妹州の経緯

山形県とインドネシア・イリアンジャヤ州（現パプア州）の友好のあかしとなる「平和友好の碑」が、太平洋戦争で多くの山形県人兵士と地元民が亡くなった同州サルミ地区に建立され、平成6年（1994年）6月9日、除幕と追悼式が行われました。引き続き州都ジャヤプラで姉妹州の調印式を行い、両県州がきずなを深め、交流を発展させることを誓い合いました。

ジャヤプラから約300km西にあるサルミ地区には、昭和19年（1944年）、山形県など東北出身者による南方派遣第36師団（通称「雪部隊」）が上陸。激しい戦闘の末、病気や栄養失調も含めて約3500人の山形県出身者が亡くなっております。山形県からの遺骨収集団に対する現地の協力、支援が契機となつて姉妹州を締結し、現在までさまざまな分野における交流を進め、友好関係を発展させてきております。



オープニング
セレモニーの
ご案内

日時／平成19年3月10日（土）
午前10時から

オープニングセレモニー／テープカット、館長によるインドネシア文化説明、パプア州ケーロム郡「ワリス伝統舞踊団」の踊り等

入館料／当日のみ無料



アマゾン民族館特別企画

『多民族国家 イン』

平成19年3月10日(土)

～インドネシア共和国

インドネシアの地理

インドネシアという国名は、ギリシヤ語でインドの島々を意味しています。その名の通り、赤道をはさんで分布する1万3000以上の島々から成る群島国家です。東の果ての島から西の果てまでは5120 kmあり、南北になおすと、日本からインドネシアに匹敵する距離です。陸地の面積は約200万平方キロで日本の5倍以上、海洋面積はその4倍もあります。

環太平洋火山帯に属していて、大小220もの火山がそびえていて、時々活発な火山活動を伴います。

国土の大部分が典型的な熱帯モンスーン気候で、7割近くが常緑の熱帯林におおわれ、季節風の影響で、乾季と雨季に分かれています。

スマトラ、ジャワ、カリマンタン、スラウエシ、パプアが主要5大島と呼ばれています。次に同国の主な島について紹介します。

スマトラ島

石油、天然ガスなどの天然資源が豊富で、高原地域では肥沃な土壌を生かして、タバコ、コーヒー、茶、ゴムなどのプランテーションが盛んに行われています。島内各地域に様々な民族が居住しており、多様な文化、社会が見られます。北部のアチェ族、西スマトラのミンナカバウ族、トバ湖周辺のバ

タック族等、各民族にはそれぞれ特徴のある歴史や文化があります。現在では大多数がイスラム教徒ですが、もともと各民族はアニミズム信仰を持っていました。13世紀にイスラム教がインド南部からバンダ・アチェに伝えられ、それからインドネシア各地に広がっていききました。

ジャワ島

国土の7% (13・2万平方キロ) に約6割 (1億1500万) の人口が集中。

首都ジャカルタや古都ジョグジャカルタを擁し、政治、経済、文化、観光の中心地です。マレー系のジャワ人 (600万人) がほぼ半数を占めています。バンドン周辺にはスンダ人 (2200万人) が暮らしています。宗教はイスラム教徒が大半です。

バリ島

ジャワ島の東に位置するバリ島は「神々の島」とも「最後の楽園」とも形容され、インドネシア観光の中心地です。

バリ島の住民の93%がバリ・ヒンズー教を信仰していて、その影響は生活全般に及んでいます。インドから伝来したヒンズー教とバリ島土着の祖先信仰が融合したものを原型に、仏教などとも混交して独自に発展したものがバリ・ヒンズーと呼ばれる宗教で、独特

の世界観を持っています。聖なる山アグンに対して魔物が住む海があり、善神バロンがいて魔女ランダがいます。浄と不浄、生と死、左右、昼夜、東西など全てが1対1になっていて、一つでは存在しえないという考え方です。

スラウエシ島

アジア大陸とオーストラリア大陸の動物の分布を分けるウオーレス線が通っており、世界でも珍しい動植物が生息している自然の宝庫です。人口は約1400万。香料の島として有名で、州都マカッサルは古くから天然の良港として栄えており、この島は、航海術にたけ勇敢な海洋民族として知られるブギス族や精霊信仰を今に伝えるトラジャ族の故郷です。中央高地に住むトラジャ族は、舟型の家や穀物倉、岩窟の墓、盛大な葬式といった独自の文化が継承されています。

ニューギニア島 (パプア州)

島の中央には、マウケク山脈等が東西に走り、標高4000m以上は氷河に覆われています。最高峰のジャヤ峰は標高5050mです。パプア一帯が根茎農耕圏で、サツマイモ、ヤムイモ、タロイモ等が栽培されています。島の北側には、州都ジャヤプラはじめ町や村が多く、州都にはビルが建ち並び大学やホテル、スーパーマーケットがあり、人口は25万。島の南側には湿原が広がり、アスマット族のすみかです。天然ガスや原油、金、銅などの地下資源や森林資源が豊富です。

チャリティーダンスパーティー Charity Dance Party




ねん がつ にち ど
2006年12月16日(土)

ありがとう
ごぞいました

庄内のダンススクール、ダンスサークルに協力していただき、毎年開催している出羽庄内国際村のチャリティーダンスパーティー。秋ぐらいから「今年はお受けますか?」と、問合せの電話を受ける程、楽しみにしていたつしやる方々が多いイベントです。

昨年度と比べ、天候に恵まれた今年度のチャリティーダンスパーティーは十二月十六日(土)に行われ、百五十三名もの方々



レイションもあり、林田ダンススクールの林田憲尚先生と生徒さん三名によるチャチャチャ、ワルツ、タンゴ、クイックス、テップを踊っていたことができました。

が庄内一円で活躍しているビッグバンド「スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ」の演奏に合わせ、ダンスタイムを楽しみました。フライ・ミー・トゥ・ザ・ムーンやムー・ン・リバーなど馴染みの曲が演奏されると、クルクルと楽しそうに踊っている姿が印象的でした。

今回はデモンストレーションも、



精算がまだ済んでいない所もあり、この場で収益金額を報告出来ず申し訳ございませんが、今回集まった収益金は、地域の外国出身者の生活サポートとして、出羽庄内国際村の相談窓口運営と日本語教室支援に役立てさせていただきます。

今回は国際村の日本語教室で日本語を学んでいる方が一名、パーティーに参加したのですが、次回はもっとたくさんの学習者の方々が参加し、皆さんとダンスを楽しめれば良いですね!

コミュニティ通訳活動報告



～よりよい通訳者を目指して～



真剣に用語をチェック、自主勉強会

国際村で平成十七年九月に発足した「コミュニティ通訳」のグループは、その後外部講師を招いた研修会や自主勉強会を続けています。現在登録者は三十九名で、言語は六ヶ国語。少しずつですが、生活の様々な場面で通訳する機会も増えてきているようです。これまでの勉強会の様子などを紹介します。

国際村で昨年度受けた様々な相談は合わせて約二百件。その四分の一が翻訳・通訳の依頼でした。依頼主は個人、企業、公的機関などで、内容も、簡単な手紙の内容確認から企業の事業説明通訳など、多岐にわたっています。

コミュニティ通訳のグループは、生活の様々な面での言語サポートを目的として作られました。現在は医療関係の通訳について、

コミュニティ通訳のグループは、生活の様々な面での言語サポートを目的として作られました。現在は医療関係の通訳について、



通訳、医師、患者役を交代で

いて重点的に学んでいます。昨年十月からは、中国語グループの自主勉強会、十一月からは英語グループの自主勉強会を始めました。この二グループは継続して毎月第三日曜に勉強会を開いています。毎回一つから二つの医療現場のシナリオを使い、患者役・医師役・通訳役を決めて交代しながら行います。最初は慣れない通訳で、皆さん汗をかきながらの練習でしたが、回を重ねるごとに要領も得、参加者同士よりよい表現を話し合

いながら進めています。また月に一度の会報を作り、皆さんの学習状況、研修会の情報などをお知らせしています。

今後は、この通訳者のレベルアップを目指すと同時に、地域で活動できるシステム作りが課題です。

昨年十、十一月から言語別の自主勉強会（中国語・英語）が発足し、コミュニティ通訳として地域に貢献しようという意識を持つ方たちと、刺激しあえるから、様々な課題を一緒に考え、共有する機会が持てるようになったことを嬉しく思っています。

IVYから講師を招いて行われた医療・司法通訳講座を皮切りに、クローバー、MICかながわなど、先駆的な団体で実践を重ねてこられた講師による講習会を何度か開いていただき、それをベースにようやく始まったところですが、安定した組織作り・人材育成など課題は多いと思いますが、この仲間が、言語を通じて、庄内地方の福祉分野であたかいサポートのできるグループに育ってほしい、そんなグループの一員でありたいと願いつつ、毎回冷や汗をかきながらの参加です。

英語 高野 あき

参加者たちの声

「昨年十、十一月から言語別の自主勉強会（中国語・英語）が発足し、コミュニティ通訳として地域に貢献しようという意識を持つ方たちと、刺激しあえるから、様々な課題を一緒に考え、共有する機会が持てるようになったことを嬉しく思っています。

IVYから講師を招いて行われた医療・司法通訳講座を皮切りに、クローバー、MICかながわなど、先駆的な団体で実践を重ねてこられた講師による講習会を何度か開いていただき、それをベースにようやく始まったところですが、安定した組織作り・人材育成など課題は多いと思いますが、この仲間が、言語を通じて、庄内地方の福祉分野であたかいサポートのできるグループに育ってほしい、そんなグループの一員でありたいと願いつつ、毎回冷や汗をかきながらの参加です。

昨年までコミュニティ通訳講座において出羽庄内国際村のスタッフが各地から講師をお願いして鶴岡に呼んで多種多様な意義ある研修会を苦労しながらやって下さっていたのが理解出来ておりました。一方仲間にはそれぞれ個人的に学ばれている博学な方々もいたのです。それで自分たちでも、もっと自主的に勉強出来ないものかと思いついてこの勉強会を立ち上げてくれました。始まったばかり、新しい参加者もポツポツ出て来ます。持続は力なりと申しますし、その方向性をも探りながら組織拡大し前進したいものです。

英語 入江 伸幸

けんしゅうせい かた
ミャンマー研修生と語ろう!

ミャンマー ウィークエンド



じ.62 かたがた じ.りゅうかい
地元の方々との交流会

を期待したいです。

今後、ミャンマー研修生が来る予定だと聞いています。大学を越え地域との交流も深まっていくことを期待したいです。

「ミャンマーってどんな国?」
そんな疑問から始まった勉強会と研修生との交流会。JICA東北と鶴岡市との連携事業で、十一月中旬、ミャンマーからの研修生が山形大学農学部に来ました。十二月一日には地元の大学生との交流会を企画。事前に学生主体の勉強会を重ねました。山形の学生は農業の面から、公益大の学生はその他の様々な面から調べ、お互いに発表し理解を深めました。様々な課題は見てきたものの、簡単には解決できないことばかり。国際協力力の難しさを感じていました。

十二月二日の研修生との交流会では、国際村に日頃から協力してくださっている方々から、そば打ち体験や料理、また通訳としてご協力いただきました。



そば打ち体験

今回の企画を担当した
JICA東北 市民参加協力調整員
柴田けい子さんより

鶴岡市はJICA東北との連携で、ミャンマーで稲作技術改良のプロジェクトを行っており、その一環でミャンマーから山形大学農学部へ稲作技術を学ぶために四名の研修員が十一月十五日から約一ヶ月間滞在しました。地元の東北公益文科大学、出羽庄内国際交流財団、青年海外協力隊を育てるやまがた地球家族の会に声掛けをし、若い世代の国際貢献への参画を図るための事業を企画しました。その名目として、公益大、山形大学から六名の学生が手をあげ、ミャンマーについての勉強会、地域のひとと研修員との交流の機会を学生が中心となって実施し、十二月二日のイベントでは互いの文化を一緒に体験しながら、ミャンマーの農業の現状と庄内からの技術貢献について、学生と研修生が発表してくださいました。帰国後、ミャンマー研修員から、庄内の人々との交流が最も心に残る思い出だったと感想がありました。また、公益大と山形大学のクラブで学生中心の企画運営を実施したことは、今後とも庄内の地域で若い世代が活躍するきっかけになればと思います。



ボリビア料理

インド料理

スペイン料理

世界の料理クラブ

世界の料理クラブって…
料理という身近な手段を通して、国際理解・国際交流の輪を広げている会員制の料理教室『世界の料理クラブ』。料理が好きな人。食生活が好きな人。国際交流をしたいという人が集まり、年六回の料理教室を開催しています。今年度のメンバーは二十三名。



料理教室風景

台湾料理

休日のランチメニュー

～募集について～

平成19年度のメンバー募集は、3月上旬に鶴岡市の広報などでお知らせいたします。大変人気のあるクラブですので、興味のある方は、お知らせを見たらすぐにお申込みください!

みなさんと一緒に楽しくおいしいクラブにしましょう!

～18年度の活動報告～

- 4/22 スペイン料理
(パエリア、トルティーヤ、レンズ豆のスープ)
- 6/24 インド料理
(ホウレンソウとチーズのカレー、卵カレー他)
- 8/26 ボリビア料理
(マサコデユカ、マサコデプラタノ、バナナチップ)
- 10/28 休日のランチメニュー
(ベグルサンド、手作りジンジャーエール他)
- 12/3 台湾料理
(肉粽、コーンスープ、リンゴのデザート他)

参加者の声
今まで韓国料理やスペイン料理などを習ってきました。それらは、庄内に住んでいる海外の方々の家の味でした。その中でその国の歴史や文化を知り交流してきました。これからも楽しみにしています。

鶴岡に居ながらにして本場の料理が味わえる、先生や会員のみなさんとの会話がとても楽しいです。私は旅行が好きなのですが、料理を通して今まで知らなかった国にも興味がわいてきます。

(恩田)

国際村では、このような事業を一緒に企画したり手伝ったりしてくれるボランティアを常時募集しております。



てがみ か かた し どうちゅう
手紙の書き方の指導中...

スコーン^{つく}作り

5/13 英語で手紙の書き方の勉強＊
 6/17 英語で日本文化紹介＊
 8/26 ニューゼalandクッキー作り
 9/23 ハロウィン（ランタン作り）
 10/21 英語で鶴岡の名所紹介＊
 11/18 スコーン作り
 12/3 クリスマス会
 1/13 モロッコへニューイヤーカード
 （＊）お手紙にしてコロラド州へ送りました。

私は月に一回のコロラド交流クラブに参加しています。主にコロラドの人たちと手紙などを通じて交流を図っています。活動はそれだけではありません。前回はモントコヘグリーティングカードを送りました。また、ウィリアム先生やナタリー先生とお話することが出てきました。

英語を通じて交流することは、自分の視野が広がるし、大変貴重で素晴らしい体験だと思います。

(岩井 万里江)

外国語でまなぶ世界の料理

おいしくて たのしくて ためになる！ そんな素敵な講座を企画・実施いたしました。
今年度も本当にたくさんの方々に参加いただきました。

いちばんくろう
一番苦労したのは…餃子
をつまみ
を包む作業でした。



講師の
加藤玲子さん

1/21(日) 中国語で中華料理 ～三鮮餃子を作ろう～

「中国で餃子といえませんが、水餃子を思い出しますが、日本人は焼き餃子を好んで食べる習慣があるようです。また、中国では主食として餃子を食いますが、日本人は餃子をおかずとして食べます。多分これが中国と日本の違うところではないでしょうか。」と講師の加藤さん。

講師が中国語で挨拶を始めた、緊張した空気が漂い、スタッフが会が進むにつれて全員家族のような雰囲気になり、麺をこねたり丸めたり伸ばしたり…。悪戦苦闘の末、いよいよ完成！苦労した分美味しく頂きました。

1/27(土) 英語でイギリス料理 ～イギリス伝統料理を作ろう～

『英語でイギリス料理』の言葉通り、全編英語で進められた料理教室。ネイティブの英語に触れられるのはもちろんのこと、なかなか食べられないのなかかったイギリス料理の味、味、味が、何より楽しめ、仕方がないといった感じで、三グループに分かれて早速調理を開始。

講師のプライアーさんが、レシピを紹介しながら各グループを回り、丁寧に作り方を指導。お昼には、各グループの個性が光る美味しいイギリス料理を食べながら、講師に質問をするなど充実した時間を過ごしました。

講師のマーティン
プライアーさん



庄内で旬の魚、寒ダラを使ったフィッシュスープは絶品!!

Information Corner

募集!

「コミュニティ通訳ボランティア」通訳を必要とする現場は多方面にわたっており、何時どんな理由でそれがなくなるか、その需要は多岐にわたっています。現在、国際村の通訳ボランティアでは、医療に関する事を中心に自主勉強会（英語・中国語）を開催しています。今後の活動をさらに深めるため、もっと多くの方々にこの活動に参加して頂きたいと思っています。お問合せお待ちしております。

募集!

「あなたも賛助会員に！」国際交流に関心のある方、国際協力に参加したい方、国際村の講座を受講される方、アマゾン民族館に興味のある方々に、様々な活動の場、出会いの場を提供いたします。賛助会員に入会いただいた方には、財団の会報『村だより』等の送付、アマゾン民族館の無料入館、語学講座受講料割引などの特典があります。新年度会員のご入会お待ちしております。

要予約

「外国語でまなぶ世界の料理」フランス語でケベック料理（カナダ編）
○日時：3月18日（日）午前10時～
○講師：チャールズ カサバン氏（カナダ出身）
○参加費：2,000円（材料費込）
○定員：先着15名（5名以上で開講）
○申込み：3月3日（土）午前9時より電話にて予約受付開始。
*詳しくは国際村事務局まで。

募集!

「国際村ボランティアスタッフ」国際村では、国際交流関連のイベントや事業のお手伝いをしてくださるボランティアの方を募集しています。例えば、イベントの企画準備、後片付け。また、外国からのお客様への通訳、ホームステイの受け入れをしてくださるホストファミリーとして…などです。特にホストファミリー登録が少ないのが現状です。興味のある方は、問合せ・登録をお願いいたします。

あとがき

大雪だった昨シーズンの冬とは、うって変わって近年にない暖冬で、ここ国際村の周辺にもほとんど雪は見あたりません。今（二月末）のところ記録的な雪の少ない冬となっているそうです。昨年の今頃は、国際村の中心に旅館者たちが、降り積もった雪で、「かまくら」や「雪灯ろう」を作って、楽しんでいた

ことを思い出します。さて、本号でお知らせのように、三月十日のアマゾン民族館特別企画「インドネシア文化展」のオープンは、赤道直下のインドネシア・パプア州から、伝統舞踊団がお出でになり、公演されます。当日は、気温が上がり暖かくなりますように！どうぞご期待ください。

